

幸田町

子育て支援ニーズ調査  
(小学校児童)

結果報告書

平成21年3月

幸田町

# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要及び回答者の属性</b>	<b>1</b>
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
	(1) 子どもの学年	3
	(2) 子どもの人数	3
	(3) 末子の年齢	3
	(4) 同居・近居の状況	4
	(5) 子どもを預けられる人の有無	4
	(6) 祖父母等に預けている状況	5
	(7) 友人等に預けている状況	5
	(8) 主に世話をしている人	5
	(9) 小学校区	6
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>7</b>
1	親の就労状況について	7
	(1) 親の就労状況について	7
	(2) 就労していない母親の就労希望の有無	11
	(3) 就労希望の形態	11
	(4) 就労希望がありながら働いていない理由	12
	(5) 母親が一番小さい子どもが何歳になったとき就労希望か	12
2	放課後児童クラブの利用について	13
	(1) 放課後児童クラブの利用の有無	13
	(2) 放課後児童クラブの利用状況	13
	(3) 放課後児童クラブを利用していない理由	14
	(4) 今後、放課後児童クラブを利用したいか	15
	(5) 放課後子ども教室の利用意向	16
	(6) 小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望	17
3	病気やケガの時の対応について	18
	(1) 病気等で学校を休まなければならなかったこと	18
4	宿泊を伴う一時預かりのことについて	21
	(1) 宿泊を伴って子どもを預ける必要があったか	21

(2) この1年間の対処方法.....	21
(3) 親族等に預けた場合の困難度.....	22
5 ファミリーサポートセンターの利用希望について.....	23
(1) ファミリーサポートセンターの利用状況.....	23
(2) ファミリーサポートセンターの利用目的.....	23
(3) 利用頻度.....	23
(4) 利用を増やしたいか.....	24
(5) 今後の利用希望.....	24
6 子育てに関する悩みや不安感などについて.....	25
(1) 子育てに関する不安感や負担感.....	25
(2) 子育てに関する悩みや気になること.....	26
7 子育ての楽しさなどについて.....	27
(1) 子育ての楽しさ.....	27
8 子どもに関する施策について.....	27
(1) 子どもに関する施策で取り組む必要性が高いもの.....	27
(2) 子育て支援環境作りの施策で取り組む必要性が高いもの.....	28

# I 調査の概要及び回答者の属性

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、「幸田町次世代育成支援行動計画」の見直しに当たり、小学校1年生～6年生をを対象にその保護者から、子ども・子育てに関する生活実態や要望、意見等を把握し、計画づくりの基礎資料を得ることを目的に実施した。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	町内の小学校1年生～6年生の保護者
配布数	1,766
抽出法	在校児
調査方法	配布
調査時期	平成20年12月
調査地域	町内全域

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	1,766
有効回収数	1,017
有効回収率	57.6%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

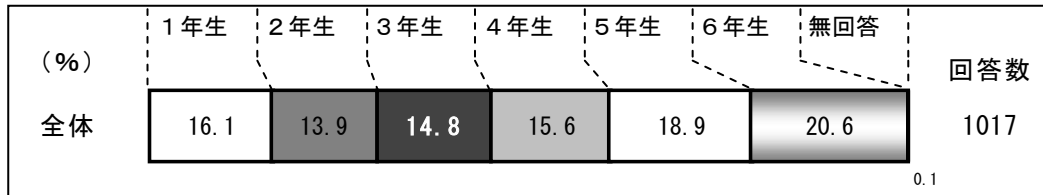
### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。  
従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④図表として示したのものの中には「無回答者」を省略した部分がある。そのため、区分ごとの実数（nの値）の合計が全体の標本数と一致しないことがある。
- ⑤本報告書は、回答者の回答結果を数値化し、集計した結果をとりまとめたもので、サービスの利用者数など、実績値と異なる可能性がある。

### 3 回答者の属性

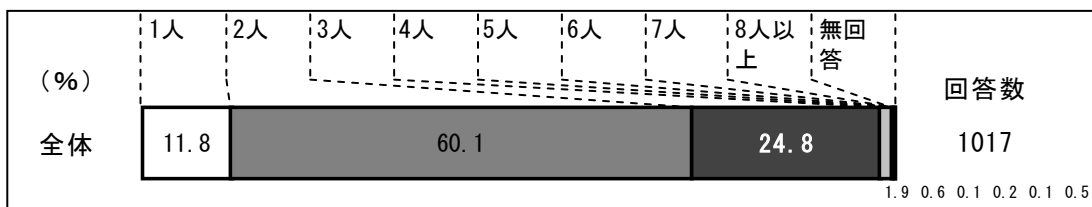
#### (1) 子どもの学年

子どもの学年については、「1年生」が16.1%、「2年生」が13.9%、「3年生」が14.8%、「4年生」が15.6%、「5年生」が18.9%、「6年生」が20.6%となっている。



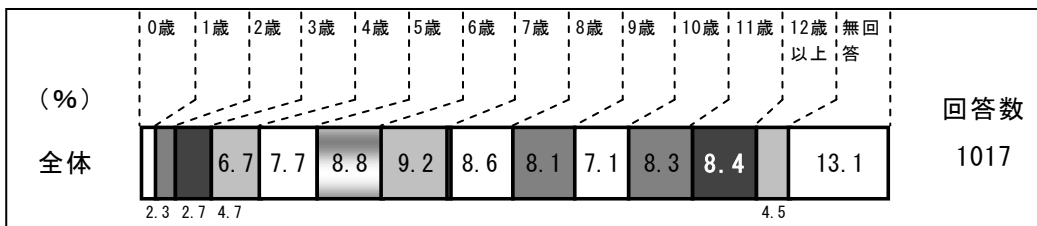
#### (2) 子どもの人数

子どもの人数については、「2人」が6割 (60.1%) を占め、「3人」が24.8%、「1人」が11.8%などとなっている。



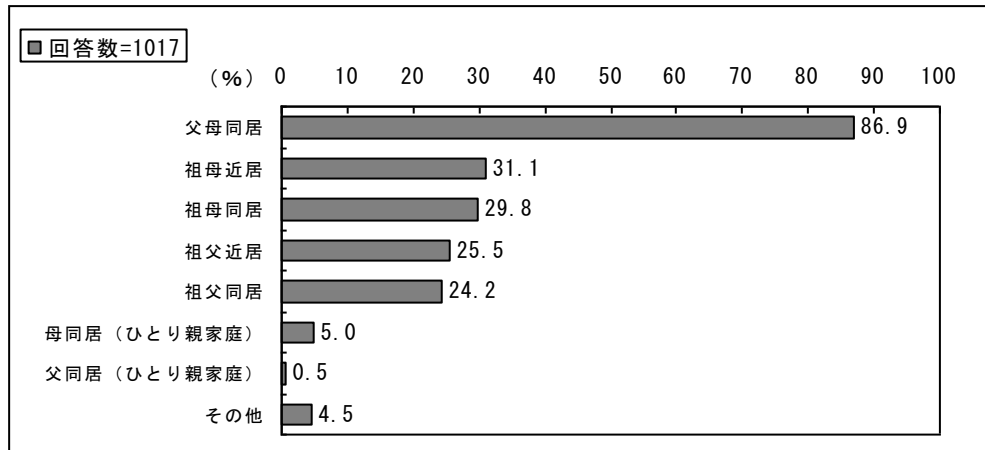
#### (3) 末子の年齢

末子の年齢については、この調査の対象が小学生1年生～6年生ということもあり、小学校の学齢期及び学齢期前の年齢層がほぼ均等に分布したものとなっている。



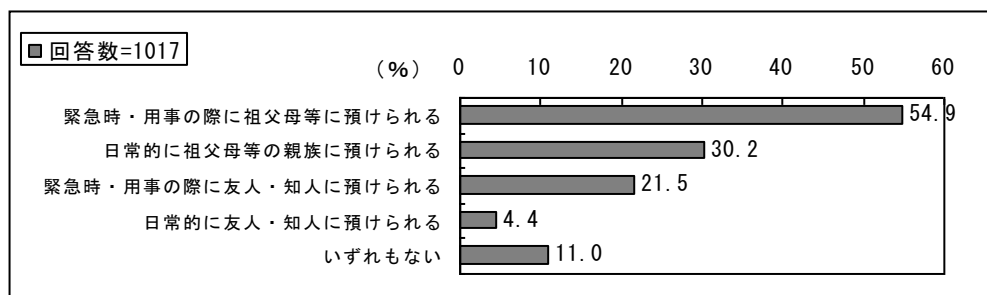
#### (4) 同居・近居の状況

「父母同居」は86.9%、ひとり親家庭については、「母子家庭（母同居）」が5.0%、「父子家庭（父同居）」が0.5%となっている。祖父母との同居については、「祖母同居」が29.8%、「祖父同居」が24.2%となっている。また祖父母との近居については、「祖母近居」が31.1%、「祖父近居」が25.5%となっている。



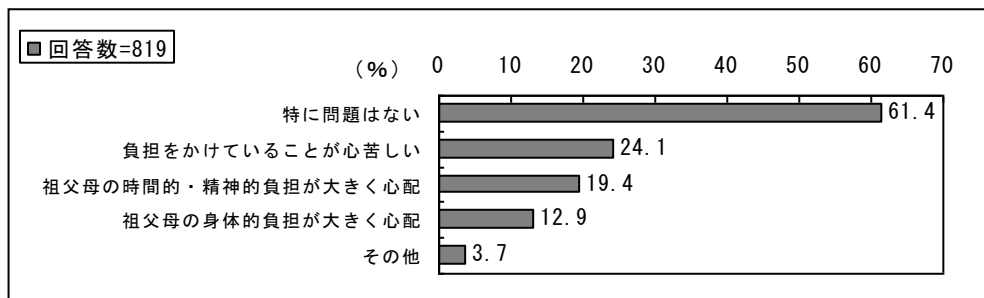
#### (5) 子どもを預けられる人の有無

子どもを預けられる人については、「緊急時・用事の際に祖父母等に預けられる」が54.9%と最も多く、これに「日常的に祖父母等の親族に預けられる」が30.2%と続き、緊急時、日常的ともに祖父母等親族が主体となっている。友人・知人については、「緊急時・用事の際に友人・知人に預けられる」が21.5%、「日常的に友人・知人に預けられる」が4.4%となっている。また、「いずれもない」が11.0%と、緊急時にも日常的にも子どもを預けられる人がいないも1割いる。



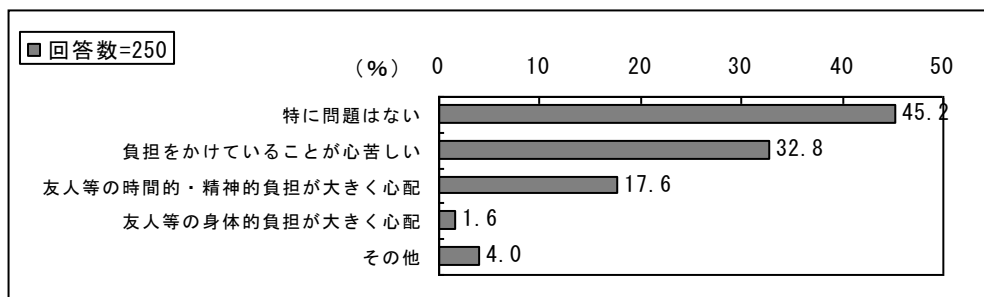
## (6) 祖父母等に預けている状況

祖父母等に預けている状況については、「特に問題はない」(61.4%)以外の4割弱に何かしらの問題等がある結果となっている。具体的に問題に感じられていることとしては、「負担をかけていることが心苦しい」(24.1%)、「祖父母の時間的・精神的負担が大きく心配」(19.4%)、「祖父母の身体的負担が大きく心配」(12.9%)の順となっている。



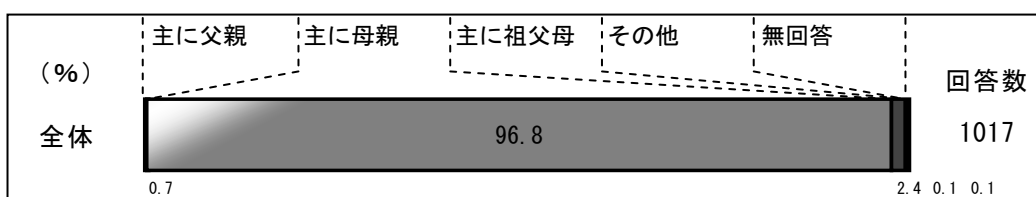
## (7) 友人等に預けている状況

友人等に預けている状況については、「特に問題はない」(45.2%)以外の5割強に何かしらの問題等がある結果となっている。具体的に問題に感じられることとしては、「負担をかけていることが心苦しい」(32.8%)、「友人等の時間的・精神的負担が大きく心配」(17.6%)、「友人等の身体的負担が大きく心配」(1.6%)の順となっている。



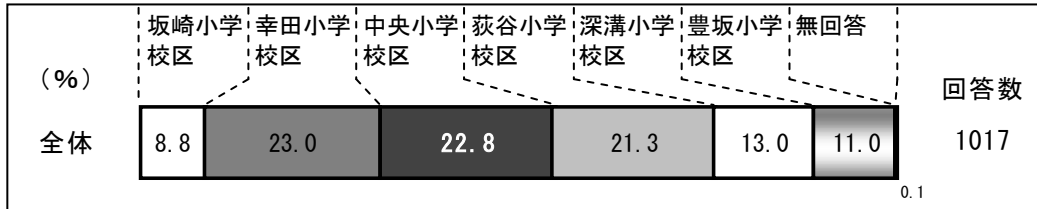
## (8) 主に世話をしている人

子どもを主に世話をしている人については、「主に母親」が96.8%とほとんどである。「主に祖父母」が2.4%、「主に父親」は0.7%となっている。



### (9) 小学校区

小学校区については、「幸田小学校区」が23.0%、「中央小学校区」が22.8%、「荻谷小学校区」が21.3%、「深溝小学校区」が13.0%、「豊坂小学校区」が11.0%、「坂崎小学校区」が8.8%となっている。



## Ⅱ 調査結果

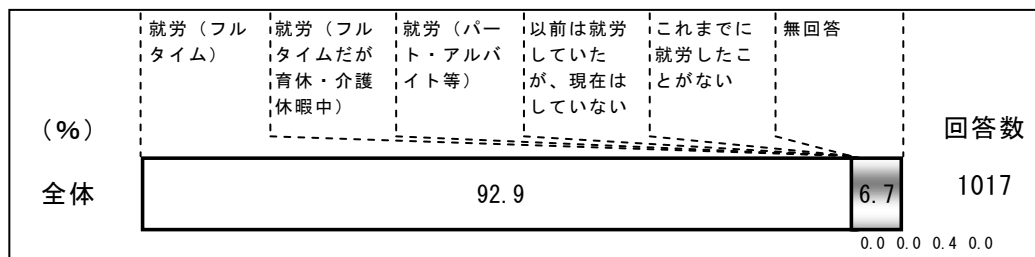
### 1 親の就労状況について

#### (1) 親の就労状況について

問9【現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。】

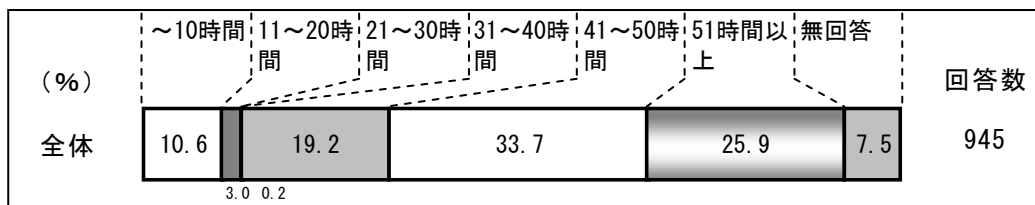
##### (1) 父親の就労状況

父親の就労状況については、「就労中（フルタイム）」が92.9%とほとんどである。このほかでは、「以前は就労していたが、現在はしていない」が0.4%となっている。



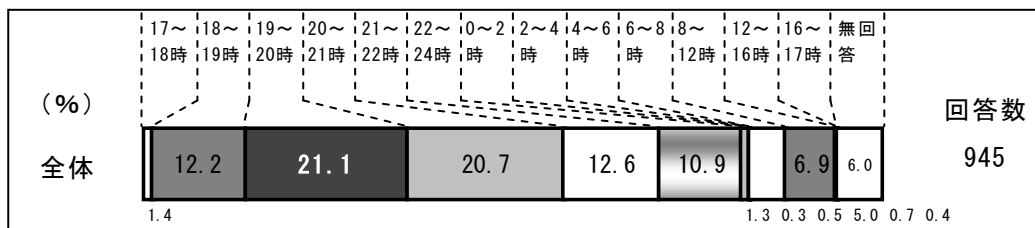
##### (1)-1 付問 父親がフルタイムの場合の週平均就労時間

週平均就労時間については、「41～50時間」が33.7%、「51時間以上」が25.9%と過半数が、週休2日で7時間労働を基本とする標準的な週平均就労時間35時間を上回っている。



##### (1)-1 付問 父親がフルタイムの場合の平均帰宅時間

平均帰宅時間については、「19～20時」が21.1%と最も多く、次いで「20～21時」20.7%、「21～22時」12.6%、「18～19時」12.2%などとなっている。22時以降の帰宅も1割を超えている。



(1)-3 付問 父親がパート・アルバイトの場合の週平均就労日数

※この問に対する回答はなかった。

(1)-3 付問 父親がパート・アルバイトの場合の1日の就労時間

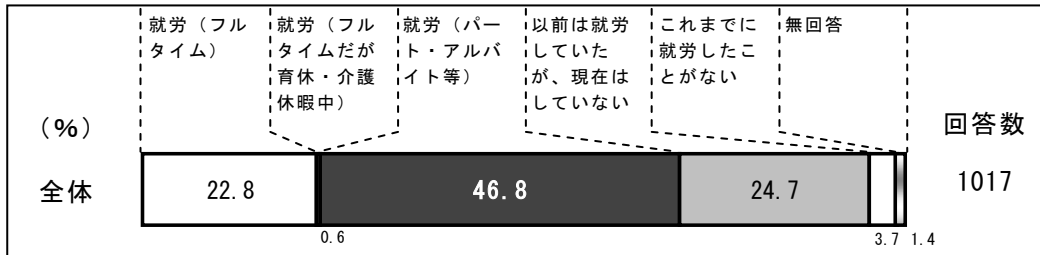
※この問に対する回答はなかった。

(1)-3 付問 父親のフルタイムへの転換希望

※この問に対する回答はなかった。

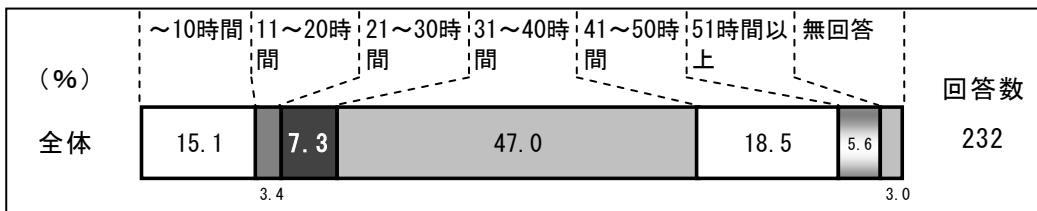
## (2) 母親の就労状況

母親の就労状況については、「就労中（パート・アルバイト等）」が46.8%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在はしていない」24.7%、「就労中（フルタイム）」22.8%、「これまでに就労したことがない」3.7%、「就労中（フルタイムだが育休・介護休暇中）」0.6%となっている。



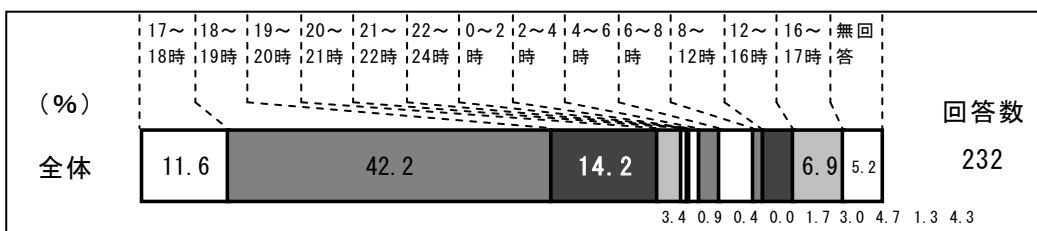
### (2)-1 母親がフルタイムの場合の週平均就労時間

週平均就労時間については、「31～40時間」が47.0%と最も多く、次いで「41～50時間」18.5%、「～10時間」15.1%、「21～30時間」7.3%、「51時間以上」5.6%、「11～20時間」3.4%となっている。



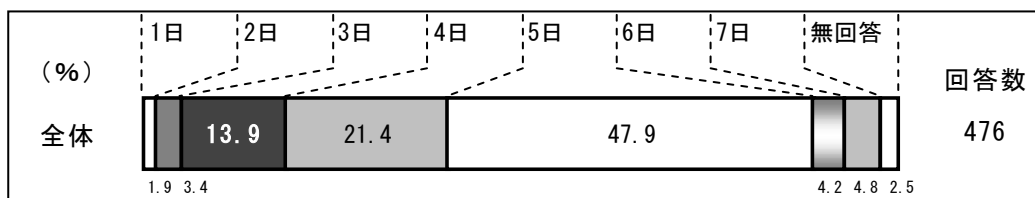
### (2)-1 母親がフルタイムの場合の平均帰宅時間

平均帰宅時間については、「18～19時」が42.2%と最も多く、次いで「19～20時」14.2%、「17～18時」11.6%、「16～17時」6.9%などとなっている。



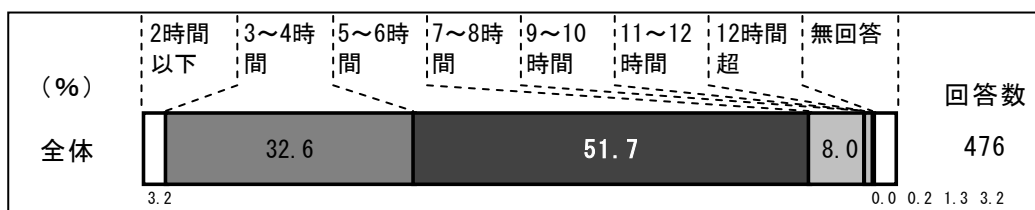
(2)-3 母親がパート・アルバイトの場合の週平均就労日数

就労日数については、「5日」が47.9%と最も多く、次いで「4日」21.4%、「3日」13.9%、「7日」4.8%、「6日」4.2%などとなっている。



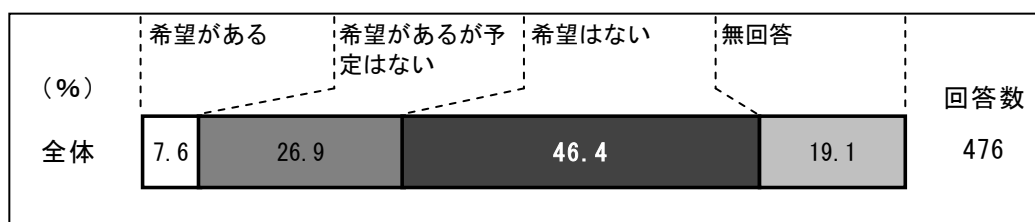
(2)-3 母親がパート・アルバイトの場合の1日の就労時間

就労時間については、「5~6時間」が51.7%と最も多く、次いで「3~4時間」32.6%、「7~8時間未満」8.0%などとなっている。



(2)-3 母親のフルタイムへの転換希望

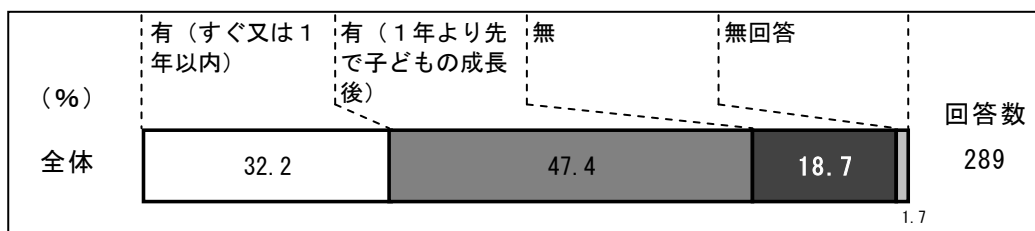
母親のフルタイムへの転換については、「希望があるが予定はない」(26.9%)と「希望がある」(7.6%)を合わせた34.5%に希望がみられる。



## (2) 就労していない母親の就労希望の有無

問 10 【問 9 の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。】母親の就労希望はありますか。

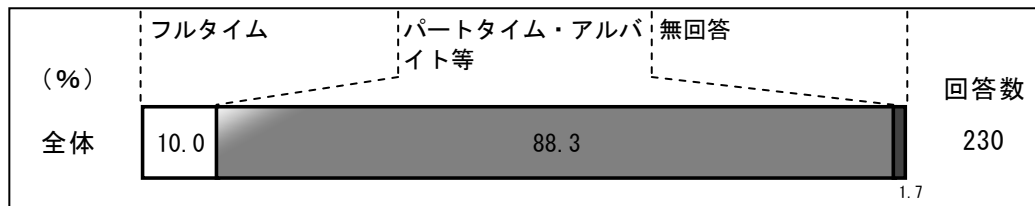
現在就労していない母親の就労希望の有無については、「有（1年より先で子どもの成長後）」が 47.4%、「有（すぐ又は1年以内）」が 32.2%と、8割（79.6%）の母親が就労希望を持っている。



## (3) 就労希望の形態

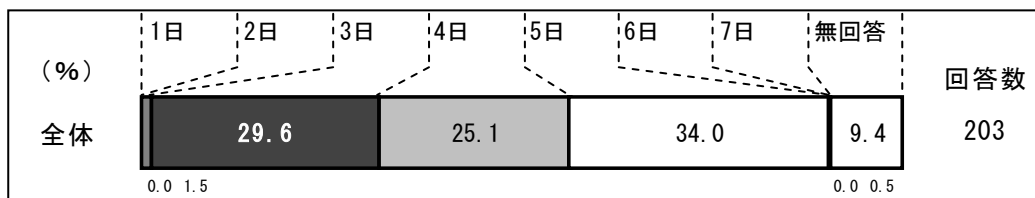
問 11 【問 10 で「1. 有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある。）」、「2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい。）」を選ばれた方にお伺いします。】就労希望の形態はどのようなものですか。

就労していない母親が希望する就労形態については、「パートタイム・アルバイト等」が 88.3%、「フルタイム」が 10.0%となっている。



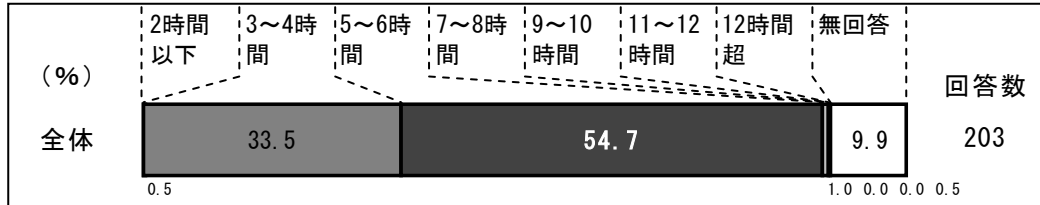
問 11-2 付問 母親がパート・アルバイト等を希望する場合の1週当たり希望就労日数

希望就労日数については、「5日」（34.0%）、「3日」（29.6%）、「4日」（25.1%）の順となっている。



問 11-2 母親がパート・アルバイト等を希望する場合の1日当たり希望就労時間

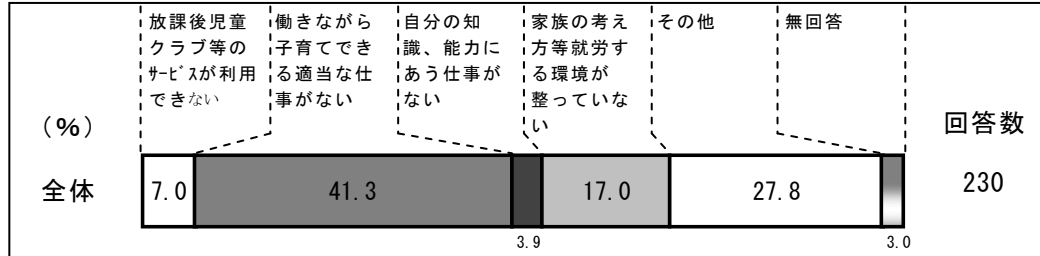
希望就労時間については、「5～6時間」が54.7%、「3～4時間」が33.5%となっている。



(4) 就労希望がありながら働いていない理由

問 12 【問 10 で「1. 有 (すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」または「2. 有 (1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。】 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

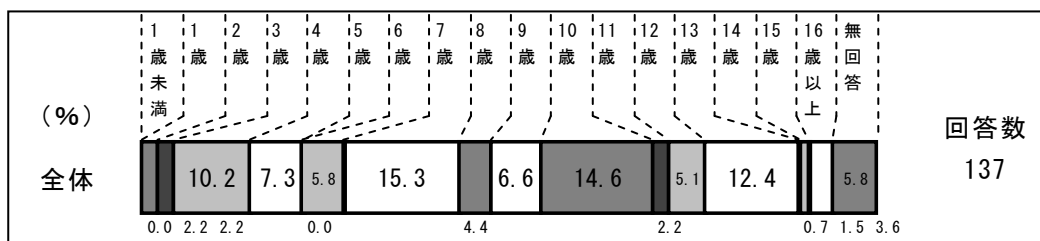
母親が働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が41.3%と最も多く、次いで「その他」27.8%、「家族の考え方等就労する環境が整っていない」17.0%、「放課後児童クラブ等のサービスが利用できない」7.0%などとなっており、子育て支援の“条件・環境が整わず就労できない”が多い。



(5) 母親は一番小さい子どもが何歳になったとき就労希望か

問 13 【問 10 で「2. 有 (1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。】 対象のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

親は一番小さい子どもが何歳になったとき就労希望かについては、6歳以上の小学校入学年齢以降の年齢層が合わせて7割を占めている。

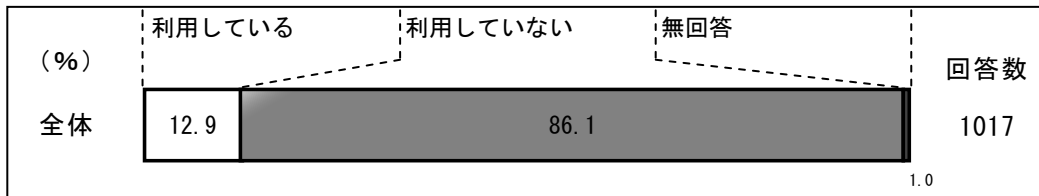


## 2 放課後児童クラブの利用について

### (1) 放課後児童クラブの利用の有無

問 14【すべての方にお伺いします】対象のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

利用の有無については、「利用していない」が 86.1%、「利用している」が 12.9%となっている。

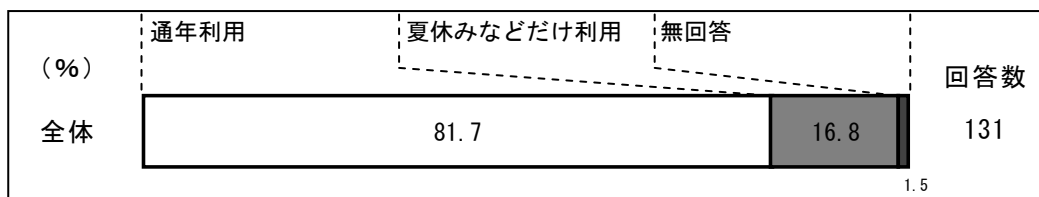


### (2) 放課後児童クラブの利用状況

問 15【問 14で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。】対象のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれ位ですか。

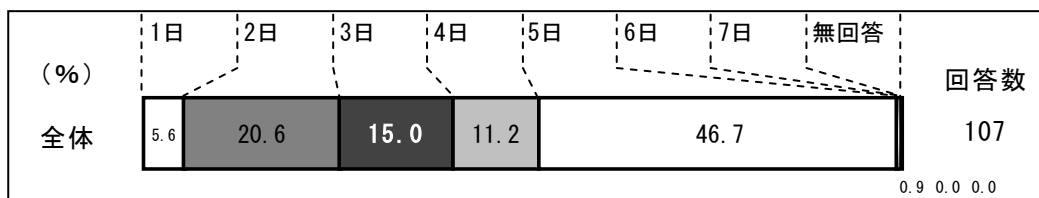
#### 問 15(1) 放課後児童クラブの利用日数

利用日数については、「通年利用」が 81.7%、「夏休みなどだけ利用」が 16.8%となっている



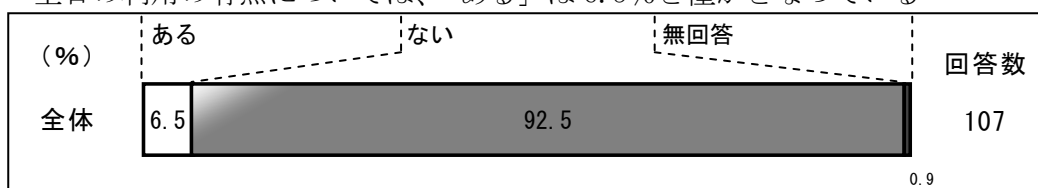
#### 問 15(1)1 付問 通年利用の場合の1週当たりの利用日数

通年利用の場合の1週当たりの利用日数については、「5日」が 46.7%と最も多く、次いで「2日」20.6%、「3日」15.0%、「4日」11.2%、「1日」5.6%となっている



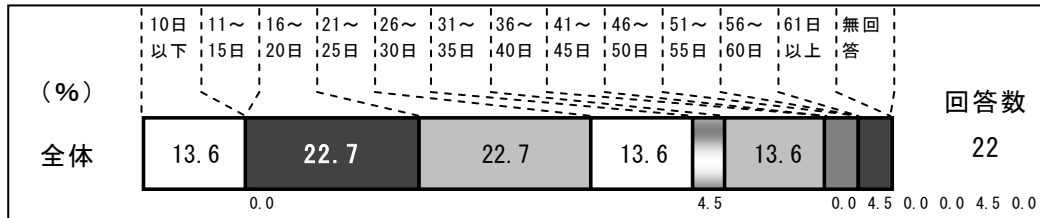
#### 問 15(1)1 付問 土日の利用の有無

土日の利用の有無については、「ある」は 6.5%と僅かとなっている



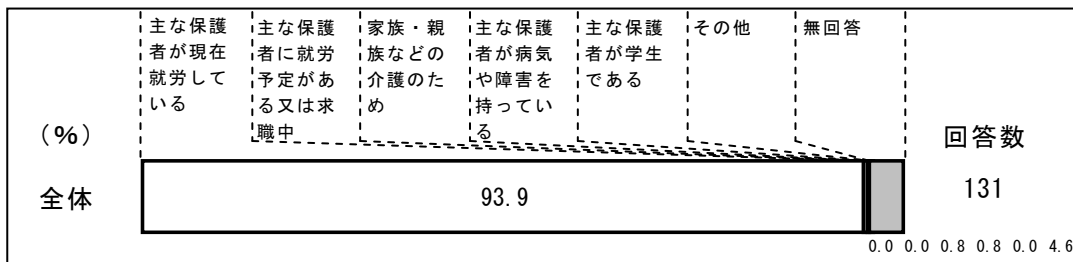
問 15(1)2 付問 夏休み等だけ利用の場合の年間利用日数

夏休み等だけ利用の場合の年間利用日数については、「16～20 日」及び「21～25 日」が各 22.7%と最も多く、次いで「10 日以下」「26～30 日」及び「36～40 日」が各 13.6%となっている。



問 15(2) 放課後児童クラブを利用している理由

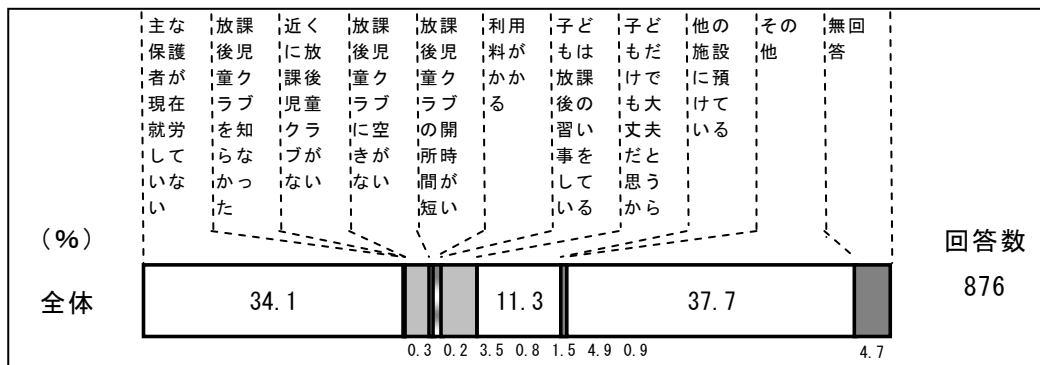
放課後児童クラブを利用している理由については、「主な保護者が現在就労している」が 93.9%となっている



(3) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 16 【問 14 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。】  
利用していない理由は何ですか。

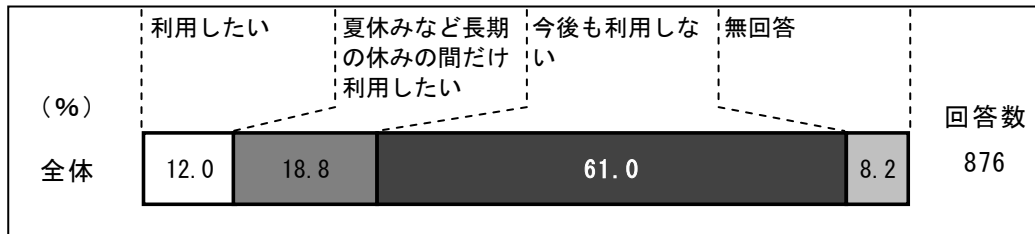
利用していない理由については、「その他」のほかでは、「主な保護者が現在就労していない」が 34.1%と最も多く、次いで「子どもだけでも大丈夫だと思うから」11.3%、「子どもは放課後習い事をしている」4.9%、「放課後児童クラブに空きがない」3.5%などとなっている



#### (4) 今後、放課後児童クラブを利用したいか

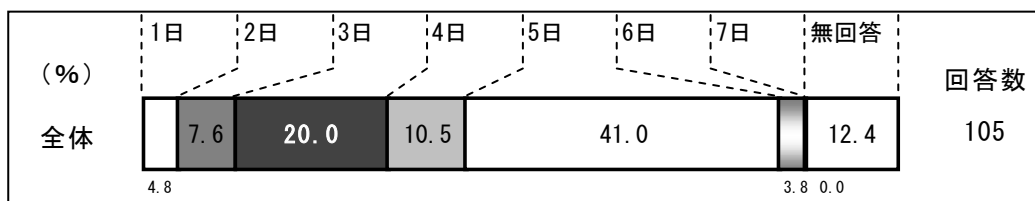
問 17 【問 14 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。】対象のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。【複数回答】

今後、利用したいかについては、「今後も利用しない」が 61.0%、「夏休みなど長期の休みの間だけ利用したい」が 18.8%、「利用したい」が 12.0%となっている。



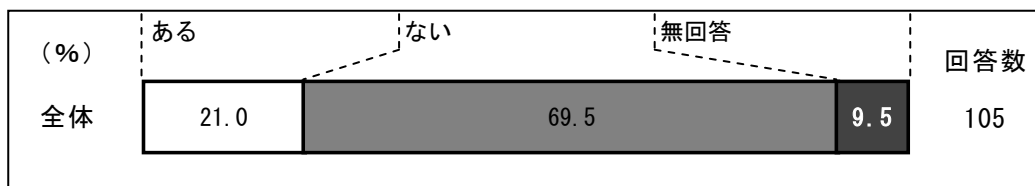
#### 問 17 付問 今後利用する場合の1週当たりの利用日数

今後利用する場合の1週当たりの利用日数については、「5日」が 41.0%と最も多く、次いで「3日」20.0%、「4日」10.5%、「2日」7.6%、「1日」4.8%、「6日」3.8%となっている。



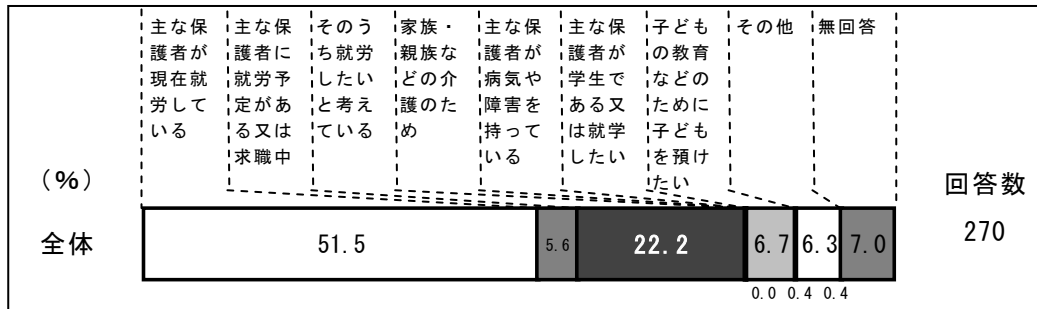
#### 問 17 付問 今後利用する場合の土日の利用希望

今後利用する場合の土日の利用希望については、「ある」は 21.0%となっている。



問 17-1 放課後児童クラブを利用したい理由

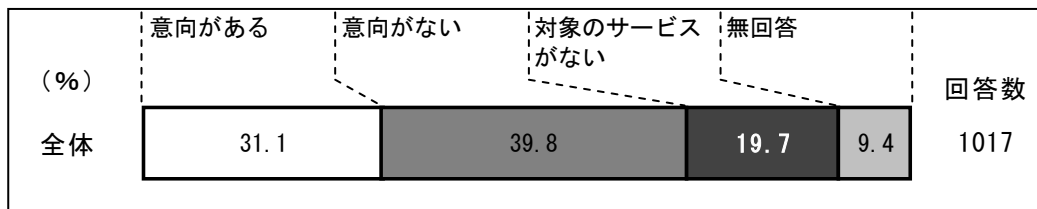
利用したい理由については、「主な保護者が現在就労中」が 51.5%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」22.2%、「子どもの教育などのために預けたい」6.7%、「主な保護者が就労予定がある又は求職中」5.6%となっている



(5) 放課後子ども教室の利用意向

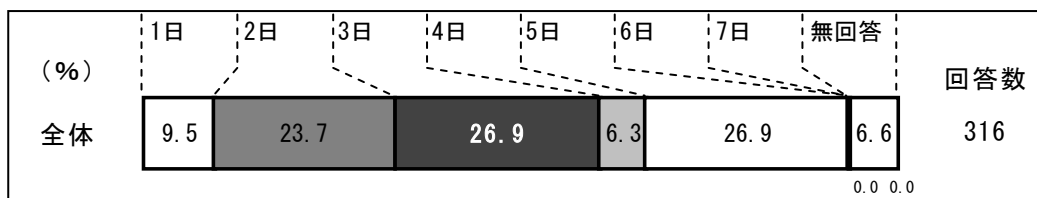
問 18 【『放課後子ども教室』についてお伺いします。】地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。

放課後子ども教室の利用意向については、利用意向については、「意向がない」が 39.8%、「意向がある」が 31.1%、「対象のサービスがない」が 19.7%となっている。



問 18 付問 意向がある場合の1週当たりの希望利用日数

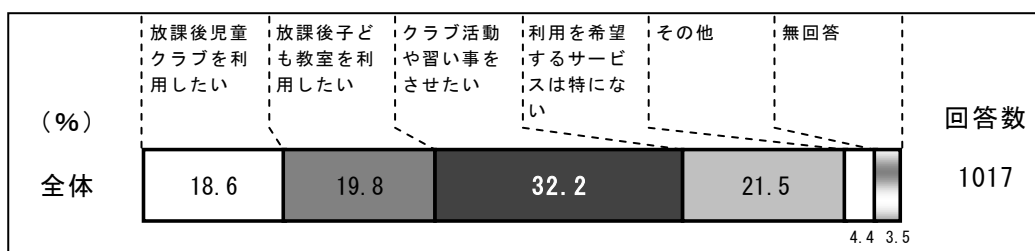
意向がある場合の1週当たりの希望利用日数については、「3日」及び「5日」が各 26.9%と最も多く、次いで「2日」23.7%、「1日」9.5%、「4日」6.3%となっている。



### (6) 小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望

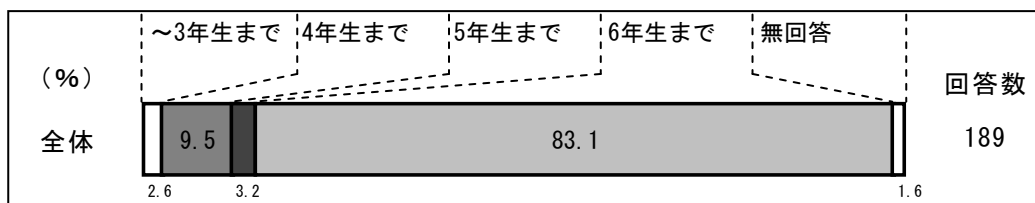
問 19 【すべての方にお伺いします】対象のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。【複数回答】

小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望については、「クラブ活動や習い事をさせたい」が32.2%と最も多く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」21.5%、「放課後子ども教室を利用したい」19.8%、「放課後児童クラブを利用したい」18.6%などとなっている



### 問 19 付問 放課後児童クラブを利用する場合は何年生までか

放課後児童クラブを利用する場合は何年生までかについては、「6年生まで」が83.1%と圧倒的に多い。

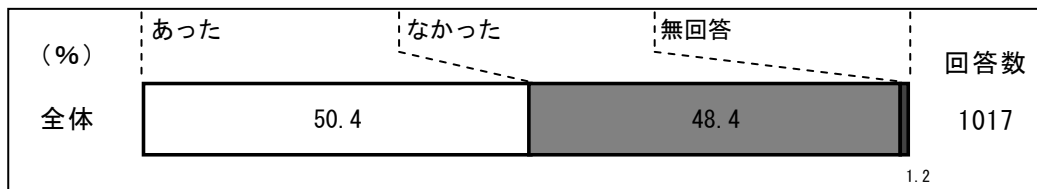


### 3 病気やケガの時の対応について

#### (1) 病気等で学校を休まなければならなかったこと

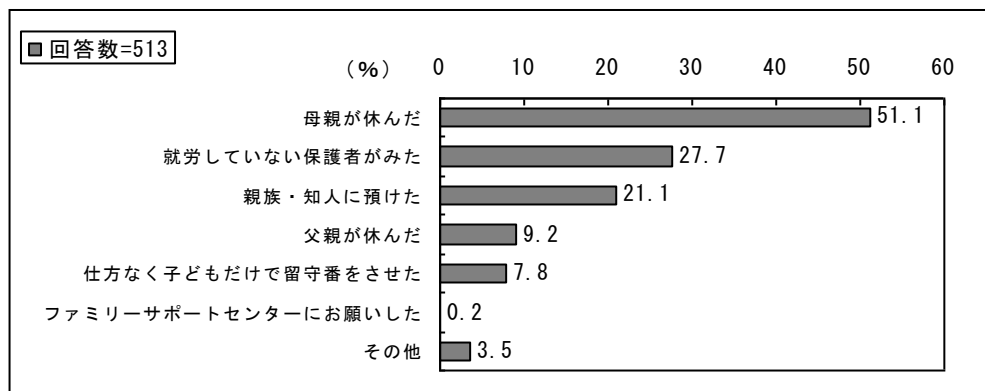
問 20 【すべての方にお伺いします。】この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

病気等で学校を休まなければならなかったことについては、「あった」が 50.4%、「なかった」が 48.4%となっている。



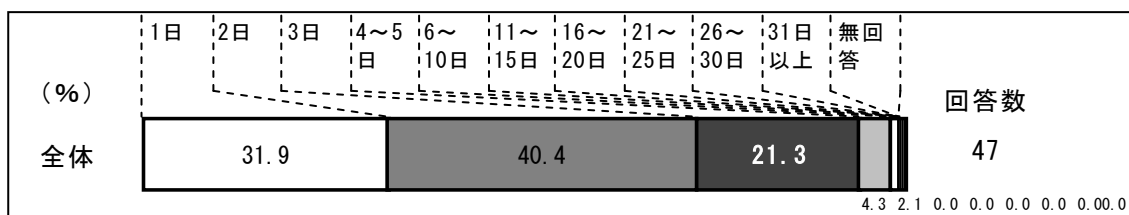
#### 問 20-1 この1年間の対処方法【複数回答】

子どもが病気等で学校を休んだときのこの1年間の対処方法については、「母親が休んだ」が 51.1%と最も多く、次いで「就労していない保護者がみた」27.7%、「親族・知人に預けた」21.1%、「父親が休んだ」9.2%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」7.8%、「ファミリーサポートセンターにお願いした」0.2%となっている



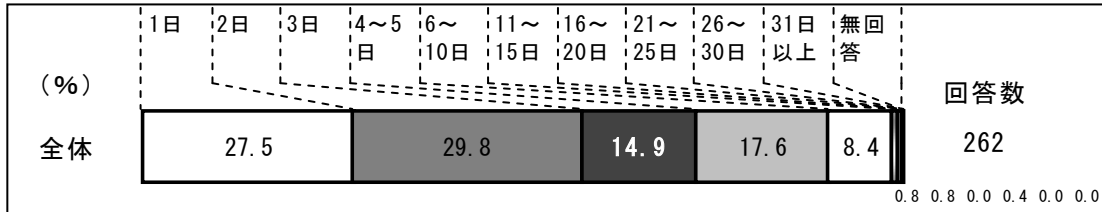
#### 問 20-1 1. 父親が休んだ日数

子どもの病気時等に、父親が休んだ日数については、「2日」が 40.4%と最も多く、次いで「1日」31.9%、「3日」21.3%などとなっている。



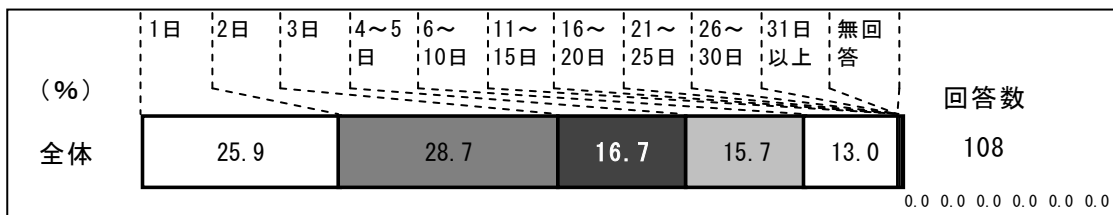
### 問 20-1 2. 母親が休んだ日数

病気時等に母親が休んだ日数については、「2日」が29.8%と最も多く、次いで「1日」27.5%、「4～5日」17.6%、「3日」14.9%、「6～10日」8.4%などとなっており、父親と比較して長期となっている。



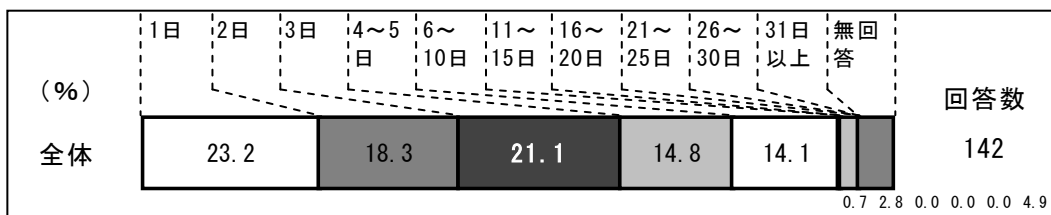
### 問 20-1 3. 親族・知人に預けた日数

病気時等に親族・知人に預けた日数については、「2日」が28.7%と最も多く、次いで「1日」25.9%、「3日」16.7%、「4～5日」15.7%、「6～10日」13.0%などとなっている。



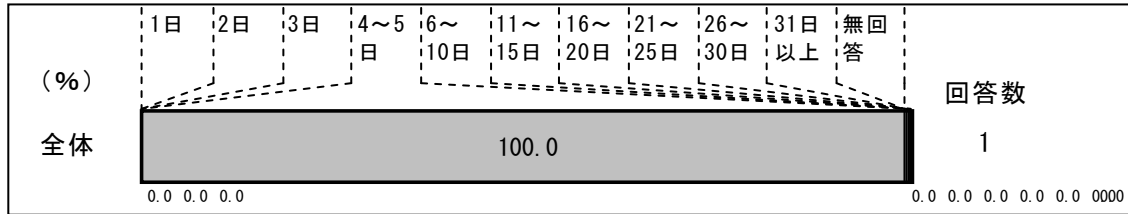
### 問 20-1 4. 就労していない保護者がみた日数

病気時等に就労していない保護者がみた日数については、「1日」が23.2%と最も多く、次いで「3日」21.1%、「2日」18.3%、「4～5日」14.8%、「6～10日」14.1%などとなっている。



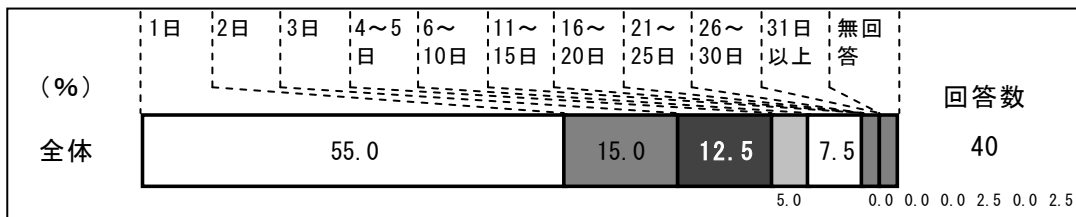
問 20-1 5. ファミリーサポートセンターに頼んだ日数

病気時等にファミリーサポートセンターに依頼した日数については、「4～5 日」(100.0%) となっている。



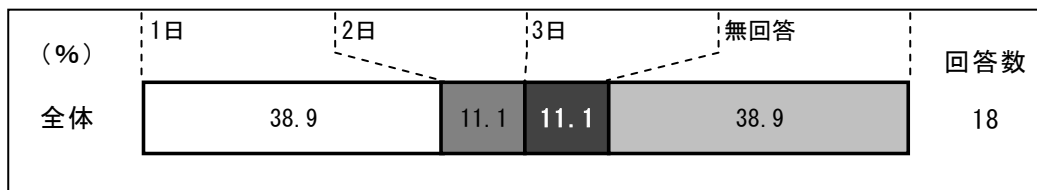
問 20-1 6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

病気時等に仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数については、「1 日」が 55.0% と最も多く、次いで「2 日」15.0%、「3 日」12.5%、「6～10 日」7.5%、「4～5 日」5.0%などとなっている。



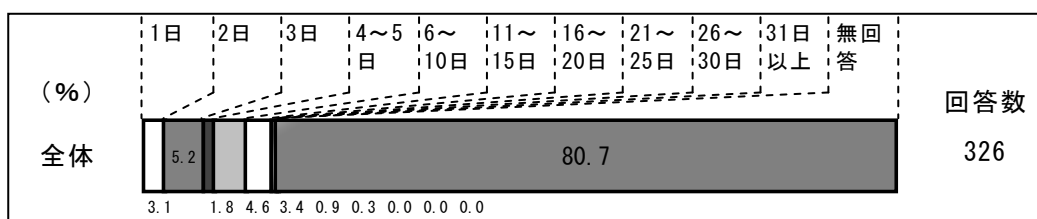
問 20-1 7. その他の対処方法をとった日数

病気時等にその他の対処方法をとった日数については、「1 日」が 38.9%、「2 日」及び「3 日」が各 11.1%となっている



問 20-2 できれば施設に預けたかった日数

病気時等にできれば施設に預けたかった日数については、「2 日」が 5.2%、「4～5 日」が 4.6%、「6～10 日」が 3.4%、「1 日」が 3.1%、「3 日」が 1.8%などとなっている

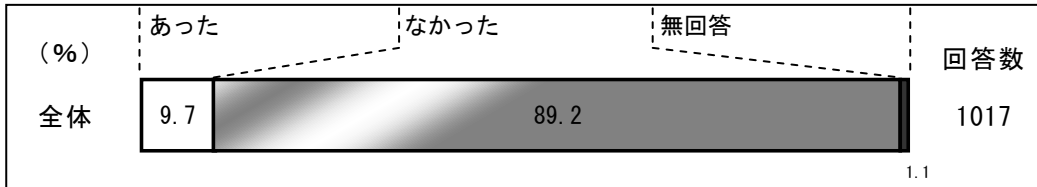


## 4 宿泊を伴う一時預かりのことについて

### (1) 宿泊を伴って子どもを預ける必要があったか

問 21【すべての方にお伺いします。】この1年間に、保護者の用事などにより、対象のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことがありましたか。

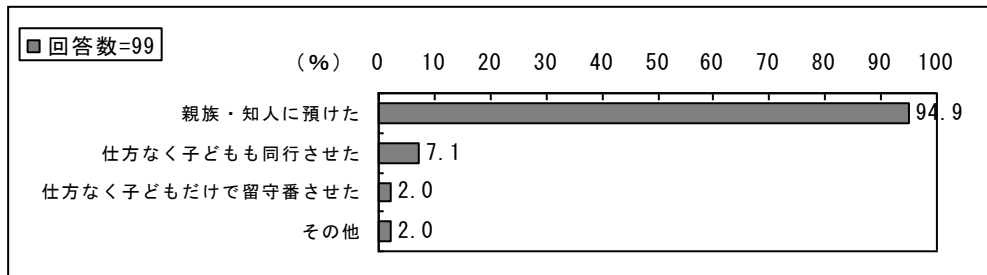
宿泊を伴って子どもを預ける必要があったかについては、「なかった」が 89.2%、「あった」が 9.7%となっている



### (2) この1年間の対処方法

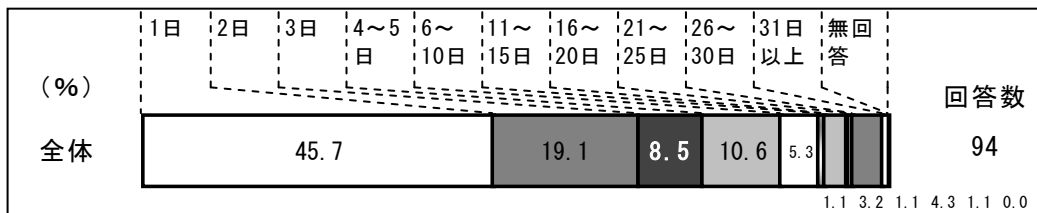
問 22【問 21で「1. あった」を選んだ方にお伺いします。】この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。【複数回答】

宿泊を伴って預ける必要があったときのこの1年間の対処方法については、「親族・知人に預けた」が 94.9%と圧倒的に多くなっている。このほかでは、「仕方なく子どもも同行させた」が 7.1%、「仕方なく子どもだけで留守番させた」が 2.0%となっている。



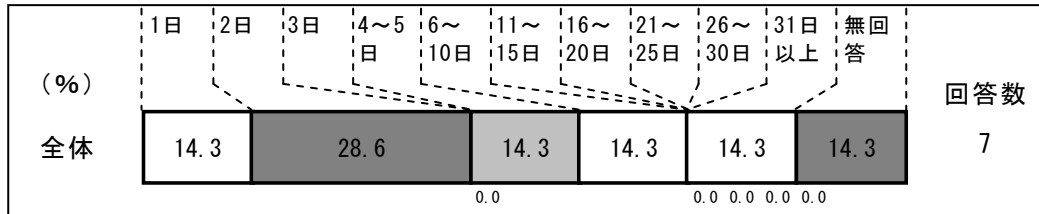
#### 問 22 1. 親族・知人に預けた泊数

親族・知人に預けた泊数については、「1日」が 45.7%と最も多く、次いで「2日」19.1%、「4～5日」10.6%、「3日」8.5%、「6～10日」5.3%となっている。



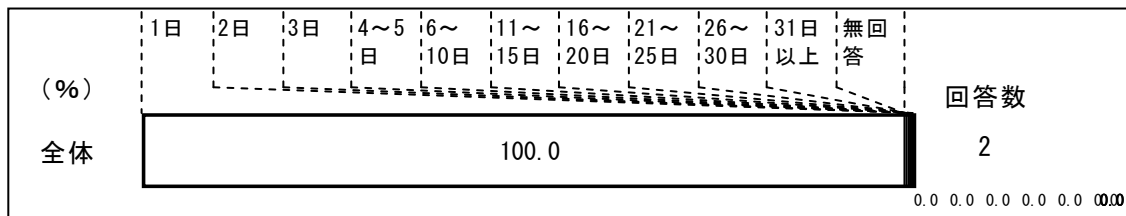
問 22 2. 仕方なく子どもも同行させた泊数

仕方なく子どもも同行させた泊数については、「2泊」が 28.6%と最も多く、次いで「1日」「4～5日」「6～10日」及び「31日以上」各 14.3%となっている



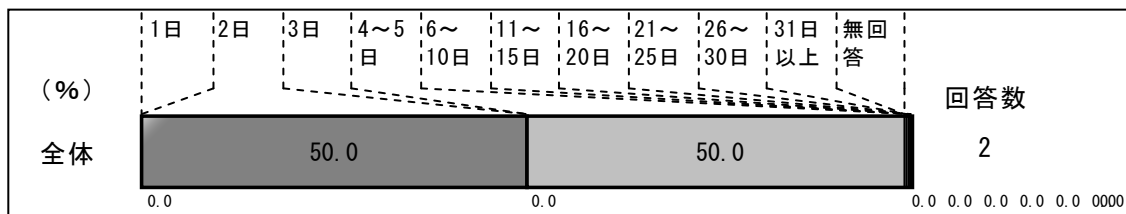
問 22 3. 仕方なく子どもだけで留守番させた泊数

仕方なく子どもだけで留守番させた泊数については、「1日」(100.0%)となっている



問 22 4. その他の対処方法による泊数

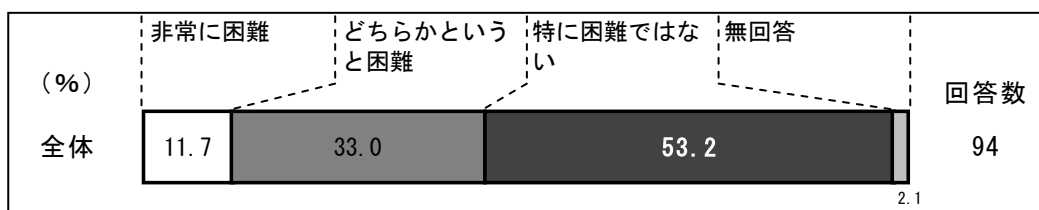
その他の対処方法による泊数については、「2日」が 50.0%、「4～5日」が 50.0%となっている



(3) 親族等に預けた場合の困難度

問 23 【問 22 で「1. 親族・知人に預けた」を選ばれた方にお伺いします。】その場合の困難度はどの程度でしたか。

宿泊を伴って預ける必要があったときに親族等に預けた場合の困難度については、「特に困難ではない」が 53.2%、「どちらかという困難」が 33.0%、「非常に困難」が 11.7%となっている。

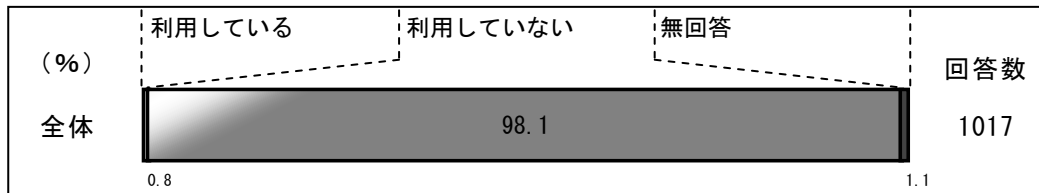


## 5 ファミリーサポートセンターの利用希望について

### (1) ファミリーサポートセンターの利用状況

問 24 【すべての方にお伺いします。】ファミリーサポートセンターを利用していますか。

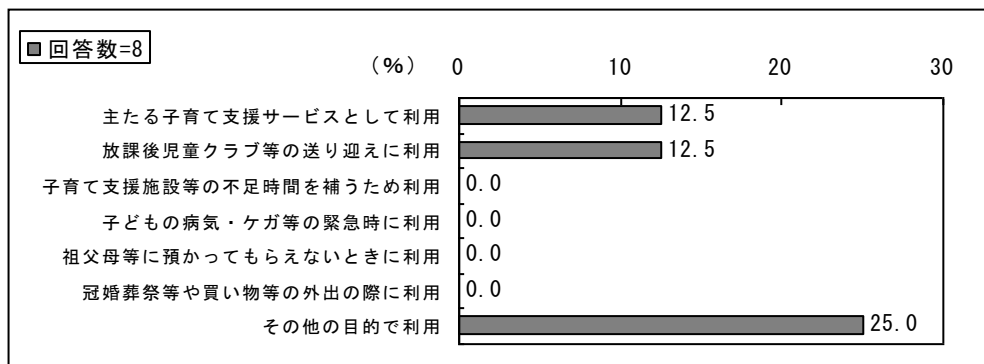
ファミリーサポートセンターの利用状況については、「利用していない」が98.1%、「利用している」が0.8%となっている



### (2) ファミリーサポートセンターの利用目的

問 25 【問 24 で「1. 利用している」を選んだ方にお伺いします。】どのような目的で利用していますか。【複数回答】

ファミリーサポートセンターの利用目的については、「主たる子育て支援サービスとして利用」及び「放課後児童クラブ等の送り迎えに利用」が各12.5%、「その他の目的で利用」が25.0%となっている。

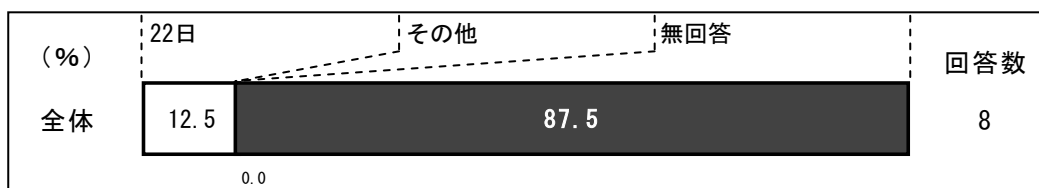


### (3) 利用頻度

問 26 【問 24 で「1. 利用している」を選んだ方にお伺いします。】どれくらいの頻度で利用していますか。

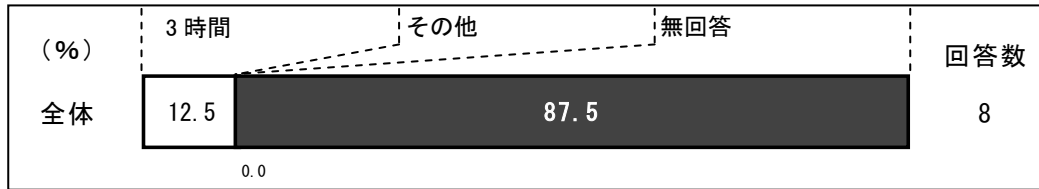
#### 問 26-1 1月当たりの利用頻度

ファミリーサポートセンターの1月当たり利用頻度については、「22日」が12.5%となっている。



問 26-2 1 回当たりの利用時間

ファミリーサポートセンターの 1 回当たり利用希望時間については、「3 時間」が 12.5%となっている。

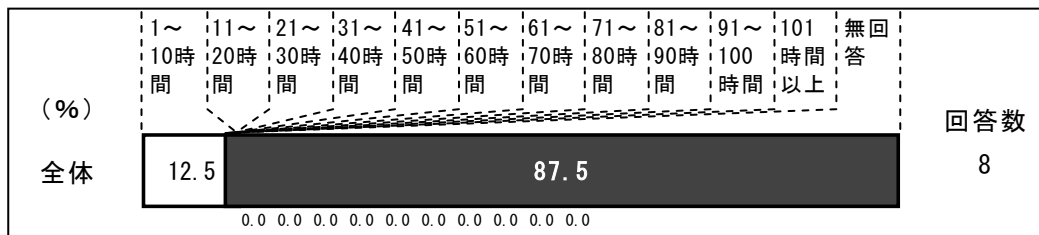


(4) 利用を増やしたいか

問 27【問 24 で「1. 利用している」を選んだ方にお伺いします。】利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。

問 27 利用を増やしたい:月に何時間

ファミリーサポートセンターの利用を月に何時間増やしたいかについては、「1~10 時間」が 12.5%となっている。

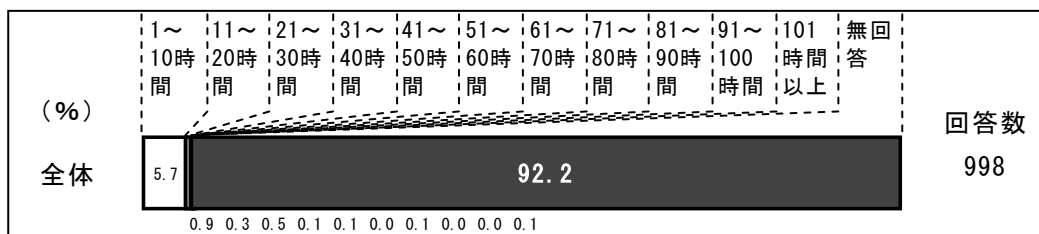


(5) 今後の利用希望

問 28【問 24 で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】今は利用していないが、できれば利用したいですか。

問 28 できれば利用したい:月に何時間

ファミリーサポートセンターを今は利用していないが、できれば月に何時間利用したいかについては、「1~10 時間」が 5.7%、「11~20 時間」が 0.9%などとなっている。



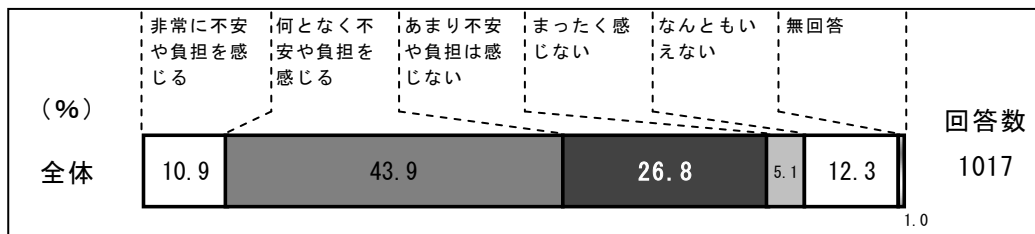
## 6 子育てに関する悩みや不安感などについて

### (1) 子育てに関する不安感や負担感

問 29【すべての方にお伺いします】子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。

子育てに関する不安感や負担感については、「何となく不安や負担を感じる」が43.9%、「あまり不安や負担は感じない」が26.8%、「なんともいえない」が12.3%、「非常に不安や負担を感じる」が10.9%、「まったく感じない」が5.1%となっている。

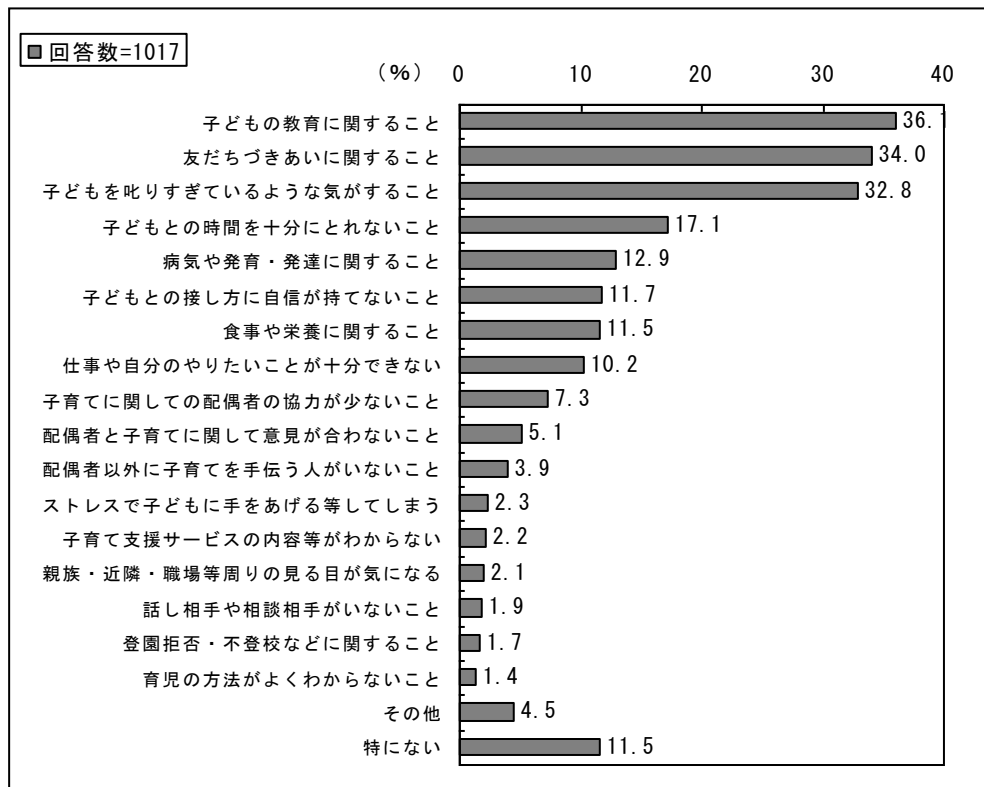
「何となく不安や負担を感じる」と「非常に不安や負担を感じる」を合わせた“不安”（54.8%）が「あまり不安や負担は感じない」と「まったく感じない」を合わせた“不安を感じない”（31.9%）を上回っている。



## (2) 子育てに関する悩みや気になること

問 30 【すべての方にお伺いします】 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。【複数回答】

子育てでの悩みや気になることについては、「特にない」(11.5%) 以外の9割近くで何かしらの悩み等を抱えている結果となっている。具体的な悩み等については、「子どもの教育に関すること」(36.1%)、「友だちづきあいに関すること」(34.0%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(32.8%) が3大事項となっている。

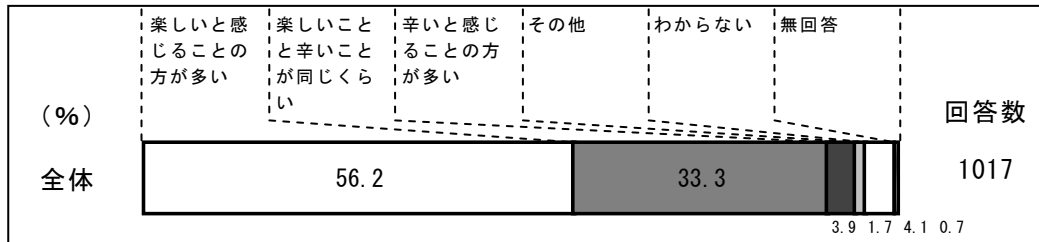


## 7 子育ての楽しさなどについて

### (1) 子育ての楽しさ

問 31 【すべての方にお伺いします】あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。

子育ての楽しさについては、「楽しいと感じることの方が多い」が 56.2%、「楽しいことと辛いことが同じくらい」が 33.3%、「辛いと感じることの方が多い」が 3.9%となっている。

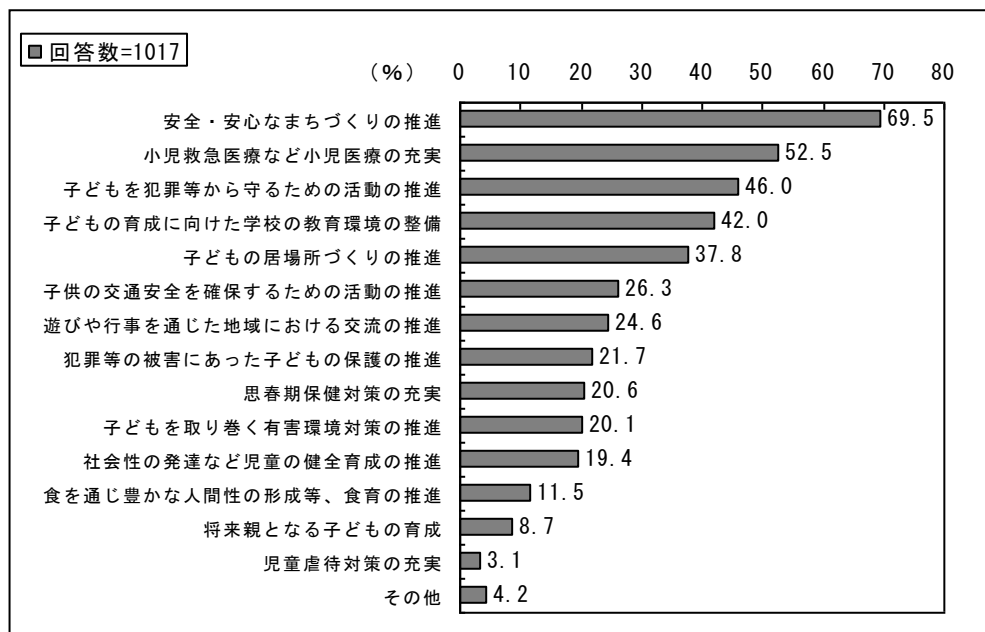


## 8 子どもに関する施策について

### (1) 子どもに関する施策で取り組む必要性が高いもの

問 32 【すべての方にお伺いします】子どもに関する施策について、町が重点的に取り組む必要性が高いと思うものは何だと思えますか。【複数回答】

取り組む必要性が高い施策については、「安全・安心なまちづくりの推進」が 69.5%、「小児救急医療など小児医療の充実」が 52.5%、次いで「子どもを犯罪等から守るための活動の推進」46.0%、「子どもの育成に向けた学校の教育環境の整備」42.0%、「子どもの居場所づくりの推進」37.8%などとなっており、子どもの安全・安心確保と教育等への施策ニーズが高いものとなっている。



## (2) 子育て支援環境作りの施策で取り組む必要が高いもの

問 33 【すべての方にお伺いします】子育て支援の環境づくりに対する施策について、町が重点的に取り組む必要が高いと思うものは何だと思えますか。【複数回答】

子育て支援環境作りの施策で町が取り組むべき施策については、「子育てに伴う経済的支援の充実」(50.1%)と「放課後児童クラブ等の受入枠の拡大」(48.0%)が5割前後から挙げられ、2大重要施策となっている。

次いで「保育園、児童館等子育て支援関連施設の整備」36.1%、「安全・安心に通行できる道路交通環境の整備」34.4%、「障害児保育の充実」22.2%、「家庭の地域における教育力の向上」22.1%などと続いている。

